

首都大学東京リーディングプロジェクト

公立大学法人首都大学東京と財団法人東京都医学研究機構は 連携して疾患解明に取り組みます

公立大学法人首都大学東京と財団法人東京都医学研究機構は、研究交流フォーラム等を通じて相互協力を行ってきました。今後、さらに緊密な連携・協力を図り、産学公連携事業を推進します。さらに、東京の課題解決のための大都市研究リーディングプロジェクトの研究課題の一つである「疾患モデルの開発と医薬素材探索プロセスの高速化」の推進に向けて、個別協定を締結し、都民の保健・医療・福祉の向上につなげます。

つきましては、**下記のとおり協定調印式を行いますので、ご案内いたします。**

記

協定調印式

- 1 日時 平成23年2月2日（水）14時30分から
- 2 場所 都庁第一本庁舎北側35階 公立大学法人首都大学東京理事長室
- 3 出席者 公立大学法人首都大学東京理事長及び財団法人東京都医学研究機構理事長
- 4 その他 協定の概要等は、別紙をご覧ください。

※取材いただける場合は、03-5320-7094（公立大学法人首都大学東京 経営企画室）へ
2月1日（火）までにご連絡願います。

【問合せ先】

<協定に関する事>

首都大学東京 経営企画室企画財務課長、連携係長 TEL 03-5320-7094
財団法人東京都医学研究機構 本部事務局 TEL 03-5316-3107

<個別協定に基づく共同研究に関する事>

首都大学東京 都市教養学部理工学系 生命科学コース TEL 042-677-2560
財団法人東京都医学研究機構 東京都臨床医学総合研究所 幹細胞プロジェクト
TEL 03-5316-3310

◇産学公連携事業に関する包括協定の概要

連携事業を通じ、『都民の生命と健康を守る』という視点に立ち、誰もが心身ともに健康に生き続けられる社会の実現を目指し、相互に協力していきます。

◇『メタボローム解析※1によるケモカイン CXCL14※2 活性化物質の探索』共同研究の内容と期待される効果

疾患と関連する遺伝子の異常が生体内で引き起す物質レベルの変化を明らかにすることを目的として、質量分析装置を用いたメタボローム解析を行います。

多様なマウス疾患モデルを研究している医学研究機構と連携し、首都大学東京におけるショウジョウバエでの研究手法をマウスに適用することで、ほ乳類疾患モデルにおける物質レベルの変化を解析します。将来的には、それを手がかりに疾患発症のメカニズムの解明、そして予防法や治療法の開発に発展させ、ヒト医薬品開発の開発期間を短縮し、開発費を低減する可能性が広がります。

※1 生物が生成する様々な代謝物を網羅的に解析する全成分解析

※2 ケモカインは様々な体細胞から生産され、炎症反応、免疫応答などの生命維持活動に極めて重要な役割を果たしています。現在ヒトでは多数あることがわかっています。そのひとつであるケモカイン CXCL14 が活性化すると摂食行動が促進されます。

【共同研究のイメージ】

